

## 平成28年度東京海洋大学入学式祝辞

この度、東京海洋大学学部・水産専攻科、乗船実習科、大学院に入学、進学された皆様、まことにめでとうございます。ご両親、ご家族の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

120年以上の歴史を持つ二つの大学が統合され創立された本大学は、我が国で唯一、海洋に関する学問を専攻する総合的な大学です。統合前の両大学が専門とした海運と水産は何千年の歴史を持つのですが、それでも海洋は未だにフロンティアとして位置づけられ、謎、夢と共に膨大な可能性を秘めた分野として期待されています。

それは、海洋の資源と海洋環境です。現在、石油と天然ガスの生産量の3割は海洋からですが、海洋からの産出割合は更に増え、メタンハイドレートなどの新しいエネルギー源も開発するので、関連産業は更に巨大な市場へと発展しています。海底にある鉱物資源の産業化・商業化への取組が我が国を筆頭に進んでいます。洋上風力発電などの海洋再生可能エネルギーの開発も海に囲まれた我が国が期待するところ大です。海洋環境は重要です。海洋は水産資源管理はもちろんのこと、開発に伴う環境影響評価、地球環境に及ぼす海洋の機能の解明と保全の在り方など、国際協調による取組が必要となっています。当大学は、海運・水産はもとより海洋に関する諸現象の解明、研究開発、科学技術の進歩に総合的に取り組んでいます。

9年前制定された海洋基本法は、「海洋の開発及び利用が我が国の経済社会の存立の基盤で」あり、「海洋環境の保全を図りつつ海洋の持続的な開発及び利用を可能とすること」を旨とすると定めました。海洋産業の発展への期待は非常に大きいものがあり、多くの人材を必要としています。このため、安倍総理大臣は、昨年7月20日の海の日特別行事で、「現在2000人程度とされる、日本の海洋開発技術者の数を、2030年までに5倍の1万人程度に引き上げることを目指す。」と発言されました。このように期待されている皆様の活躍する分野は、世界6位の我が国の領海・排他的経済水域だけでなく、世界に広がっています

入学された皆様が大事にして欲しいのは、「人間は社会と共に存在している」という意識です。

何故社会と共に存在しているのかと言えば、皆様が今日この大学のスタート地点に立てたのは、皆様の親御さん、兄弟親戚、友人、先生、地域社会、国、社会インフラ、制度などがあればこそです。もちろん、皆様の努力を軽んじるものではありませんが、皆様の育てくれた社会の存在と役割を感じて欲しいし、その社会へ感謝し、貢献して欲しいのです。学生時代の社会への貢献で最も重要なことは、人格、教養を高め、知識と考える力を身につけることです。学生の本分は勉強です。

昨年も二人の日本人科学者が独創的な研究でノーベル賞を受賞しました。独創性とは、従来の考え方を全く覆すものであり、常識に囚われない考えから生まれると言います。

しかし、実際のところは、これまで人類が作り上げてきた膨大な知的体系を吸収した上で、その上に新たなパラダイムを作り上げたものが独創的な発見発明であるという理解が正しいと思います。まず学び、その上で疑問を持ち、考えてください。社会が蓄えた知恵と力を踏み台に皆様の独創性を発揮してください。

皆様に身につけて欲しいと思うものは、たくさんあるのですが、主なものは、十分な基礎学力、考える力、そして社会、産業に対する関心、問題意識です。

まず、先人が創りあげた知的体系、基礎的な学問をしっかりと身につけてください。「学問のすすめ」で、福沢諭吉は、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」といいますが、「賢人と愚人との別は学ぶと学ばざるとによりてできる。」と言っています。大学において授業、先生達との対話、友人との交友などを通じて学んでください。

次に、考える力です。身につけた学力、知識を教科書通り適用してうまく行くことは多くありません。また、今までうまく行っていたことでも環境の変化により、突然うまく行かなくなることもあります。絶えず変化し発展する社会に応じて変えたり、止めたり、全く新しいことを始めたりするためには考える力が必要です。皆様は、講義以外にも実習などで多くの経験をし、何故こうしているのか、こんな方法でやってみたらどうかという疑問を持ち、世の中の動きを把握し、自分だったらどうするかという問題意識を持てるようにしてください。

第三は、社会と産業に対する関心です。これから皆様が専門分野を学んでいくときに、その専門知識が社会、産業にどのように使われているのか、どのように役に立つのか考え関心を持ってください。自分が学んでいる学術が社会と産業の中でどのように使れているかを知ることは、卒業後の進路の選択に極めて重要な意味を持ちます。

タイムズ・ハイヤーエデュケーションという機関が世界の800位までの大学のランキング付けをしています。本年1月、本大学を小規模大学分野で世界20位と位置づけました。そして、小さい大学は正しい選択となりうると指摘しています。小規模大学では教育陣からの手厚い教育と指導を受けられ、学生にとって充実した学生生活を受けられるからです。幸い、本大学には素晴らしい研究・教育スタッフが揃い、設備も充実しています。また、小規模大学だからこそ、研究・教育スタッフ及び学生同士のコミュニケーションも密にとれます。皆様は、これからの大学生活で、多くの知識を得、現象の様々な見方、価値観を学び、考える力を身につけ、新しい環境、新しい世界にチャレンジする能力と心構えを身につけることと思います。今は、希望と幾分か不安を持って入学式を迎えられている皆様が何年か後に高い能力、自信と意欲を持って社会に羽ばたかれることを願って私のお祝いの言葉といたします。

平成28年4月7日

国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所  
海上技術安全研究所 特別顧問 井上四郎